

子育て支援のハードとソフトを高い次元で融合し 子どもたちに未来の社会に対応できる力を！

コピーアンドアソシエイツ代表取締役社長 小林照男 × ミサワホーム代表取締役社長執行役員 竹中宣雄

独自のメソッド「マトリクス保育」が好評の「コピープリスクール」を運営するコピーアンドアソシエイツ。

「住まいは子育てのために」を信念とするミサワホームグループ。この2社の経営トップをお招きし、これからの子育て支援について語っていただいた。



子どもたちが宿題や国語、算数などに取り組むラーニングフロア。明るい雰囲気の中、座卓や机、テーブルなど、好みのスタイルで勉強できる。



「子ども子育て総合研究所」での学童保育施設の第1弾となる「コピーアフタースクール+（プラス）代官山」は、2016年3月に開校し、新入生を迎える。

●両業界初の試み

竹中 かつて住まいは「果まい」と表記されていたように、「住まいは子育てのために」というのが弊社の信念です。そして2008年以降、事業の最適化を進めるなかで、住まいを軸として暮らしをサポートしながら社会貢献にもつながる事業を模索していました。そのころ、コピーさんとの出会いがあったのです。

小林 現在、コピーグループは、認可保育園を中心に23の保育施設を運営していますが、当時10園ほどの規模の私どもにお声がかかるとは思っていませんでしたので、お話しをいただいたときは大変驚きました。弊社は創立以来、一貫して保育の質にこだわってきました。

た。異なる年齢の子どもや担任以外の保育士との交流が自然に生まれるような仕掛けを随所に施し、人との関わりの中で成長を促す独自のメソッド「マトリクス保育」を軸に高品質な保育の提供を目指し、取り組んできました。

竹中 私たちは、そうしたコピーさんの理念やこだわりを強く共感し、お互いのノウハウを提供し合うことで、より質の高い保育が実現できるのではないかと考えました。このような異業種同士のコラボレーションは、両業界でも初めてのことですね。第一弾は、2010年4月に開園した「コピープリスクールのみめぐろ」でした。それ以降、首都圏で10カ所の協業実績があり、8施設で「キッズデザイン賞」を受賞しました。

●子ども子育て総合研究所

小林 そして昨年7月、両社が共同出資して「子ども子育て総合研究所株式会社」を設立することができました。

竹中 子育ては、卒園後も続きます。実際、小学校低学年までの放課後や夏休みなどの時間は1年で約1600時間といわれています。一方で、女性の社会進出や共働き世帯が増加していますから、こういった時間には子どもたちが快適で安全に過ごせて、親も安心して預けられる環境が求められるはず。独立した組織として保育や教育、食育、住育など多彩なテーマの研究に取り組むことは、双方の強みである快適な子育て環境を設計するハード面と、子どもと親の視点に沿ったサービスを提供するソフト面とをより高い次元で融合させることになりました。

小林 今年7月、子ども子育て総合研究所の学童保育施設第1弾として、「コピーアフタースクールプラス代官山」が完成しました。これまでアフタースクール事業は、保育園に併設するかたちで卒園した小学生を対象に、在園中に参加した英語やバレエなどのお稽古事、

宿題のサポートなどを提供してきました。それを卒園児以外にも対象を広げたのが「コピーアフタースクールプラス代官山」です。2020年をめどに大学入試のセンター試験が廃止され、知識量を問う学力テストから、知識を活用して自ら課題を解決できる能力を見る試験に変わっていきます。そうした変化の波を乗り越え、未来を生き抜く強い力を育む施設にできれば、と考えています。

竹中 現在の小学生の65%は、今は存在していない仕事につくという米国の予測もあります。ますます社会がグローバル化するなかで、アクティブラーニングや21世紀型スキルなどのプログラムを通して、未来の社会に対応できる力を身につけることは、大変重要です。

小林 子どもは、ご家族はもちろん、地域や日本の宝です。子育てのプロフェッショナルとして、子を産み育てやすい社会の実現に向けて、全力で取り組めます。

竹中 ミサワホームグループも、母親と子ども、お年寄りによさしい企業を目指し、女性の社会進出や共働き世帯をサポートすることで、より良い子育て社会の実現に貢献していきたいと考えています。

特集 キッズデザイン

こばやし・てるお 株式会社コピーアンドアソシエイツ代表取締役社長。社会福祉法人コピーソシオ理事長。1969年、千葉県生まれ。95年、アメリカのケンタッキーウエスレアン大学卒業後(会計学・経営学)、96年、有限会社コピーアンドアソシエイツ設立。00年株式化。11年、社会福祉法人コピーソシオを設立。東京・千葉・埼玉・山形で認可保育園「コピープリスクール」および運営受託園など、23施設を運営。著書に「急成長コピー、スーパー保育園運営の極意 感動の輪が広がる保育」(明石書店)がある。



たけなか・のぶお ミサワホーム株式会社代表取締役社長執行役員。1948年、和歌山県生まれ。72年法政大学社会学部卒業後(広告論)、ミサワホームに入社。95年、ミサワホーム取締役就任。99年に千葉ミサワホーム(現ミサワホーム東関東)社長に就任する。2004年4月からミサワホーム東京社長、07年ミサワホーム取締役専務執行役員を経て、08年より現職。



好奇心や探究心を育てるラボスペース。科学の実験や図画、工作など多用途に使用できる。必要に応じて目にやさしい電球色と明るい蛍光灯色に切替えられる。